

# J P 労組北陸退職者の会会報

号 外  
2016年6月18日  
発行責任者 坂本哲治  
編集責任者 串田信行

## 会員一丸で期日前投票とプラス1行動

### J P 労組退職者の会第2回全国総会で決議 6月14～15日

J P 労組退職者の会は、6月14～15日、東京都内「メルパルク東京」で第2回定期

全国総会を開催し、向こう一年間の活動計画を決めました。



総会には、北陸地方代表として坂本哲治地方会長、串田信行地方事務局長、近藤源一郎福井連協副会長が出席し、中央幹事会提案に対して①準会員のあり方、②組織共生協と慶弔制度、③支部組織の確立と役員問題、④会員拡大の現状、⑤今後のなんば再選に対する取組みなどについて意見を述べました。

全国各地方・連協からも多岐にわたって多くの意見が出され、白熱した議論となりました。

最終的には、出された意見・要望に対する中央幹事

会としての答弁が示されるとともに、菰田会長から①なんば奨二再選に向けた最終行動、②退職者の会の組

### なんば奨二後援会活動結果と再選・必勝への取組み方針

第2回全国総会の任務は、なんとと言っても「なんば再選」に向けた取組みでした。総会の総意として決議されたことは、菰田会長の見解と提案が全てでした。

その内容は、今日まで取り組んできた後援会活動では、当落ぎりぎり、大接戦の状況にあり、「なんば再選あるのみ」の合い言葉で現退一体で最後の闘いを進めなければならないとの認

識・体制確立方針、③会員拡大に向けた予備会員制度の新設方針、④慶弔制度の安定的維持に向けた早急なる検討ーなど基本的な見解が述べられ、提案された活動計画が全体の拍手で了承されました。

引き続き向こう2年間の中央幹事会役員選出が行われ、北陸から推薦の川島靖さんが引き続き副会長の任に当たることとなりました。

識の下、①期日前投票行動の徹底、②プラス1行動によってもう一票の積みみーです。

北陸地方退職者の会幹事会は、全国総会模様および決議内容を会員のみならず方にお知らせし、地方・連協・支部それぞれの機関役員が先頭に立って本決議を実践し、全会員が団結して行動展開することを要請します。

# 全国退職者の会藤田会長 総会あいさつ要旨

## 「なんば奨二」参議院議員再選と 政策・政治課題について

安倍政権の暴走政治の怖さは、一歩間違うととんでもない方向に猛進し、社会の混乱と人々の苦しみを引き起こす危険性を持っています。

また、安倍政権は一強他弱の政治情勢をよいくことに独善的な手法で暴走し、労働現場は非正規労働者が4割にせまり、働く者の労働条件は格差拡大の一途を辿っています。この不安な労働事情を放置したまま労働法制の改悪に執念を燃やし、労働関係法改正を強行しようとしています。

私たち高齢者・退職者の年金・福祉医療など社会福祉制度の分野にも切り込もうとする政策を政治日程にあげようとしています。

一方、市場原理主義者の学者、政治家の策動により

民営化された郵政事業は、

「地域社会と共に共生発展する原点」は守られつつも、経営と労働条件をみると苦しみの中から展望が見出せない中で、苦労の日々を歩んでいます。

まさに、平和、雇用、社会保障、そして国民・地域から愛される郵政事業の発展が脅かされている一連の情勢は、安倍政権の暴走により深刻さが増していると指摘しなければなりません。

## 組織拡大整備と慶弔制度の安定について

退職者の会組織拡大に向けた整備として現役組合員の退職前から退職に備えた取組みをサポートしつつ、退職者の会に「予備会員」として加入して頂く制度の

郵便局で働きながら支部

の組合活動行ってきた経験をもつ政治家として高く評価され、労働法制や郵政事業への政治介入に歯止めをかけられる政治家は「なんば奨二」だけと確信します。

中央幹事会としては、合言葉は唯一「なんば再選あるのみ」の下、今日までの取り組みを更にレベルアップし「もう一人プラスの支持者の獲得と会員・支持者の期日前投票の確実な実践」を全国で取り組んでいただくことを強く要請します。

具体的には、退職前に呼び会員として加入して頂き、退職後に正式会員とする。なお、退職者の会会報は送る。会費は徴収しない。

今後は、中央執行委員会で議論をして頂き、次期全国大会に提案頂くよう要請します。

組織慶弔制度（前年度末での全国状況では、9連協で慶弔金会計が赤字）については、値上げはせず、継続維持していくことを前提に専門的知識者も含めた数理解討を慎重に速やかに行います。

## 退職者の会の活動の基本について

退職者の会の理念、活動の基本について所感を述べたい。

私は、結成総会で「退職者の会は、間口は広く、垣根は低く」のスタンスで情報交換と交流を中心に生涯

組合員（会員）としてJ P 労組と関わっていくことで安心と豊かな老後生活を過していく事にしたい、と述べました。

労働人生の大半を郵政事業で過ごし、仕事を通じてユニバーサルサービスの精神と地域社会への貢献という大切な哲学を身につけ、労働組合との関わりでは仲間の絆を大切にする貴重な作風・気風も見つけました。退職後も会員の思考や行動の基本として存在していると思います。

その基本の延長線上に「世話役活動」と言う財産を持っていきます。この「世話役活動」を退職者の会の活動の基本ベース（理念）にすべきと考えます。

この理念で退職者の会を育成した後輩が気軽に加入できる組織を目指したいことを申しあげ、活発な議論をお願いします。

# 期日前投票の確実な実践を

導入を目指すことを基本に議論をお願いしたい。